

第十一回 (株) 有線ブロードネットワークス番組審議会 議事録

開催日時：平成 16 年 2 月 17 日 15 : 00～

開催場所：(株) 有線ブロードネットワークス 山王パークタワー13F  
プレゼンテーションルーム

出席者 委員：小林亜星、有馬祐行、池田憲一、山本武司、渡辺英夫、青木寶久、大島綏子（順不同・敬称略）  
放送局側：7 名

議事内容

1. 会社動向及び報告事項

2. 番組改編に関する報告

春期番組改編の報告

NHK 語学講座

J-WAVE

A.O.K.～アダルト・オリエンテッド・歌謡～

3. 番組課題

ヒーリング系番組について

4. 番組審議

- 「ヒーリングミュージック～癒しの音楽～」 「ヒーリングステーション」については作り手側のコンセプトが番組によく現れてとても良いと思う。「ワールド・ヒーリング」に関しては、分かり易いが聴き手によっての好き嫌いがはっきりしてしまう番組だと感じた。その他の番組は今ひとつ番組コンセプトがわかりづらく、何をどう伝えたいのかのコンセプトを再度検討しなおした方が良いと感じた。
- 病院によっては、厳しい検査等をするときに音楽をかけるところがあるが、つらい検査の時や重病の時に音楽をかけられると逆に煩わしく感じる。受けて側により何を癒しとを感じるかは千差万別だと思うので、ある程度の医学的裏付けをとって見るのも 1 つの方法ではないか。
- 高齢者にとっては「癒し的ヒーリング」と言われる音楽よりも、若いときに聞いた音楽を聴くと良いと言われている。
- あえてヒアリングと言うよりも、受けて手側が満遍なくこのチャンネルが良いとチョイスできることが重要。その面では SOUND PLANET は様々なジャンルがあって良いと思う。
- ヒーリングの番組のなかで楽器の 1 つとしてハーモニカやオカリナなどを入れてみたらよいのでは。
- 「海からのメッセージ」などの自然音をもっとアレンジして見たらさらによくなるのではないか。
- このような「ヒーリング」番組はあったほうが良いが、やはりそれぞれのコンセプトを明確化し受けて側へ提供することで、癒しの分野がさらに広がるのではないか。